

個人情報の盗難について

このたび、千葉大学医学部附属病院（病院長：河野陽一（こうのよういち）、千葉市中央区亥鼻1-8-1）の非常勤医師が盗難に遭い、下記のとおり患者様の個人情報盗難の被害がありました。

患者様には、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。心からお詫び申し上げます。

記

1. 概要

耳鼻咽喉・頭頸部外科（じびいんこう・とうけいぶげか）の非常勤医師（女性、32歳）が、12月25日（木）22時から24時の間、千葉市内の飲食店の駐車場に駐車していたところ、車内に置いてあった私用パソコンの入った鞆が盗難に遭い、千葉中央警察署に被害届を提出しました。

盗難に遭ったパソコンには、症例研究のためにまとめた患者様の情報が入っていました。

- | | |
|-------------|--|
| （1）情報件数 | 43名分 |
| （2）含まれる個人情報 | 名前（カタカナフルネーム）、ID番号、年齢、病名、治療内容
※住所、電話番号、病院名は含まれておりません。 |

2. 経緯

12月25日（木）	22時～24時	盗難事件発生
〃	24時頃	警察へ被害届提出
12月26日（金）	8時40分	企画情報部長（個人情報保護管理者）へ報告
	9時00分	病院長へ報告
〃	17時00分	臨時運営会議を開催し、院内緊急周知
〃	18時00分	患者様あてに病院長名でのお詫び文書送付

盗難情報には住所、電話番号が含まれていないので、直ちに患者様個人に連絡できる内容ではないと考えており、また、現在のところ被害の連絡はありません。

3. 今後の対応

本院では、従前より個人情報管理の観点から患者様のデータを厳重に管理するとともに、研究に用いる場合には、データの匿名化等を指示してまいりましたが、今回、これらが徹底されずこのような事態を招く結果となりました。

このたびの事態を重く受け止め、各診療科の長を構成員とする運営会議を昨日緊急招集し、改めて個人情報の適正管理に関し、院内周知の徹底を図りました。

なお、個人情報保護に関するこれまでの本院の対応だけでは不十分という認識のもと、新たに対策を取ることで、再発防止に向けた教育・指導して参りたいと考えております。

- ①職員の認識度を確保するためのアンケートを実施する。
- ②パソコン画面上で個人情報適正管理に関する警告が出るようにする。
- ③各診療科等にポスターを掲示し、啓発に努める。
- ④病院として各診療科等の担当者による「個人情報保護の取り組みに関するWG」を立ち上げ、永続的に検討を進めていくとともに、月1回の個人情報適正管理デーを設け、診療科単位での周知徹底に努める。
- ⑤中途採用職員への重点的な再教育を年間を通じて適宜で実施する。

また、当該非常勤医師には、病院として漏洩情報に関する活動（学会発表等）についての停止や一定期間診療から外し、その間本院が新たに立ち上げる「個人情報管理に関するWG」に主体的に携わってもらうことで、組織としての再発防止に貢献してもらうこととしています。

<p>本件に関するお問い合わせ先 千葉大学 医学部附属病院 総務課長 川村 篤 TEL:043-226-2218 FAX:043-224-3830</p>
